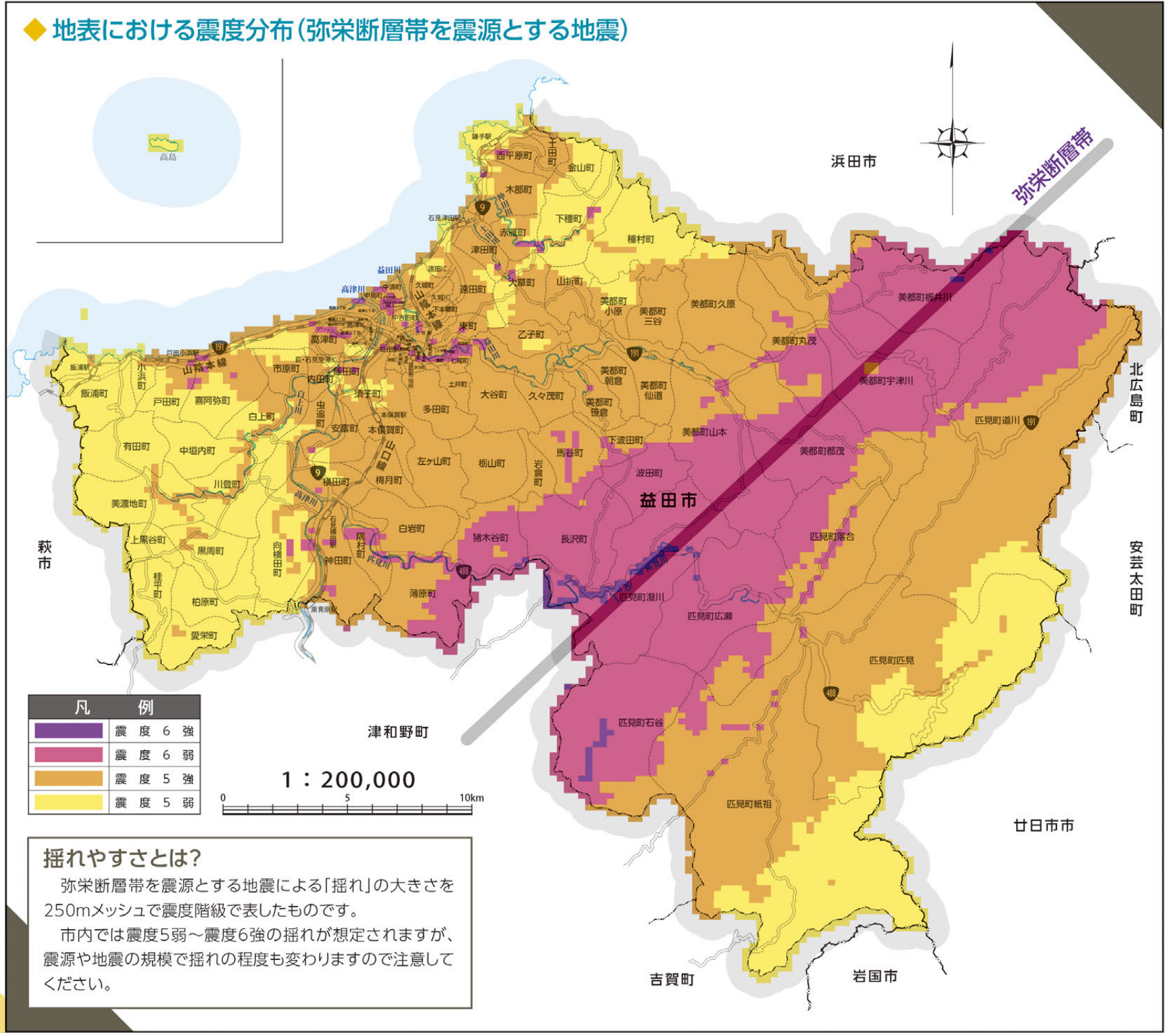


地震ハザードマップ

島根県が平成30年3月に公表した「島根県地震・津波被害想定調査報告書」に基づき、益田市で最も大きな影響をおよぼすとされる「弥栄断層帯を震源とする地震」を想定した「揺れやすさ」と「液状化の危険度」を示しています。

◆ 地震ハザードマップ(揺れやすさ)



地震ハザードマップ

震度と揺れ等の状況(概要)

0

人は揺れを感じない。

2

屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。

1

屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。

3

屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。

4

- ◆ ほとんどの人が驚く。
- ◆ 電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。
- ◆ 座りの悪い置物が、倒れることがある。

5弱

- ◆ 大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。
- ◆ 棚にある食器類や本が落ちることがある。
- ◆ 固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。

5強

- ◆ 物につかまらないうと歩くことが難しい。
- ◆ 棚にある食器類や本で落ちるものが増える。
- ◆ 固定していない家具が倒れることがある。
- ◆ 補強されていないブロック塀が崩れることがある。

6弱

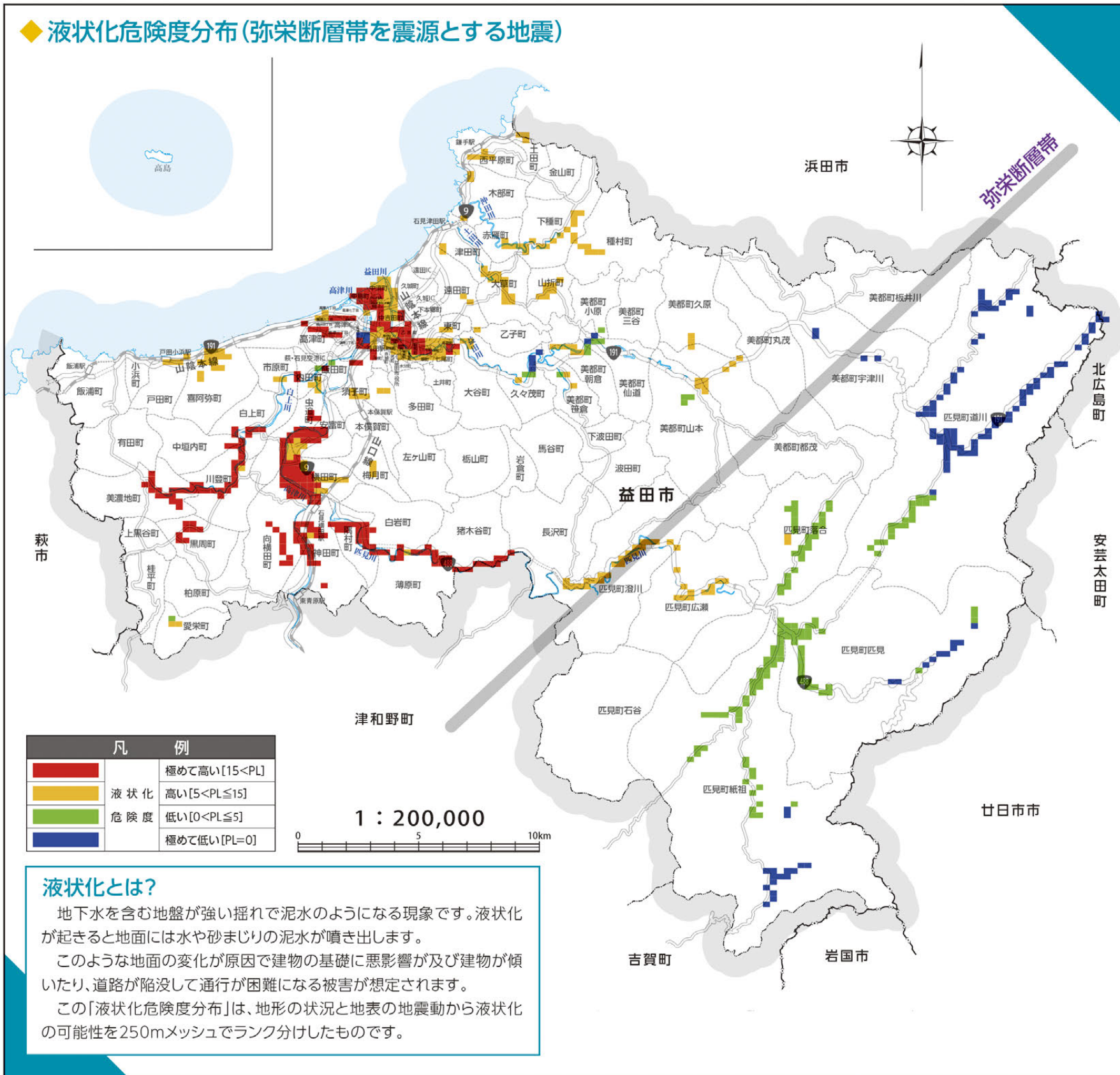
- ◆ 立っていることが困難になる。
- ◆ 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。
- ◆ 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
- ◆ 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。

耐震性が高い 耐震性が低い

出典：気象庁「震度と揺れ等の状況(概要)」

◆ 地震ハザードマップ(液状化の危険度)

◆ 液状化危険度分布(弥栄断層帯を震源とする地震)



液状化とは?

地下水を含む地盤が強い揺れで泥水のような現象です。液状化が起きると地面には水や砂まじりの泥水が噴き出します。

このような地面の変化が原因で建物の基礎に悪影響が及び建物が傾いたり、道路が陥没して通行が困難になる被害が想定されます。

この「液状化危険度分布」は、地形の状況と地表の地震動から液状化の可能性を250mメッシュでランク分けしたものです。

6強



- ◆ はわないと動くことができない。飛ばされることもある。
- ◆ 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。
- ◆ 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。
- ◆ 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。

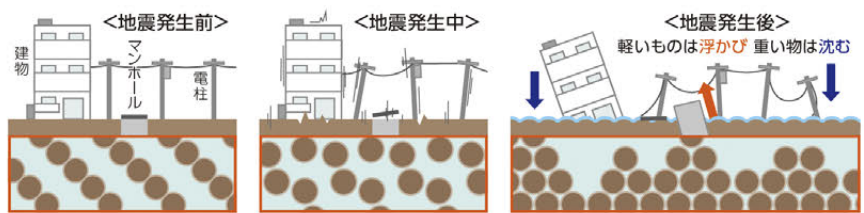
7



- ◆ 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。
- ◆ 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。
- ◆ 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える。

液状化

地下水位が高く、緩い砂質で構成される地盤では、地震後に液状化という現象が起きることがあります。液状化が発生すると、マンホールや貯水槽が押し上げられ、繋ぎ目が破損したり、地盤沈下により建物が傾いたりすることがあります。



地盤の隙間に水をたくさん含みながらも砂の粒子同士が接触し建物を支えています。地震の震動により、砂の粒子がバラバラになり、水に浮いた状態になります。バラバラになった砂の粒子が沈み、地面には水が出てきたり、地面の裂け目から砂まじりの泥水が噴き出します。地盤が建物を支えられなくなり、土の中に沈み込んだり倒壊したりしてしまいます。



押し上げられたマンホール



地盤沈下により傾いた交番